

## 第2回境港市みんなでまちづくり推進会議会議録

日時：平成25年5月8日(水) 18:30~22:00

場所：中央公民館

### 日程

1. 開会
2. 平成25年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. 閉会

### 出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇紀文  
徳尾勝 松本幸永 水田浩司 渡部敏樹

### 欠席者（敬称略）

門脇京子 土井哲雄

### <開会>

#### （事務局）

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。第1回目の募集を行いましたところ、新規申請団体4団体を含む13団体という多数の申請がありました。市の方でも公民館にポスターを貼るなど広報に努めてまいりました。委員の皆様にも広報をお願いし早速効果が表れたものと思っております。審査は審査員をみんなでまちづくり推進委員のなかから3名選出し、地域振興課長と合わせて4名で審査を行います。推進委員から選出する審査員は事前に相談をして決定しました。

本日はプレゼンテーションを7団体にしてもらいます。新規設立等事業が2件、一般事業の新規が2件、継続が2件、緑化事業の新規が1件となっております。1団体15分間で、まず最初に3分間で申請概要説明をしていただき、残りの12分間で審査員に質疑をしていただきます。その間審査員以外の方には傍聴していただきます。

プレゼン終了後の20:30から皆さんで討議をいたします。審査表などを参考に一件ずつ採択、不採択、修正の確認及び決定をしていただきます。なお継続の緑化事業につきましては6件の申請がありました。こちらについては書類審査のみで、市として緑化事業は極力認めたいと思っております。審査の視点としまして、住民の参加度や経費、補助金が無ければできない事業かなどについて見ていただけたらと思います。

それでは、プレゼンに移ります。

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1 団体目 南大正町自治会

・申請事業 花と緑の大正町

・事業内容 南大正町自治会、大正町会の2自治体で、春（5～6月）に会員が集まり花苗を植栽し、プランターを道路沿いに設置する。秋（10～11月）にプランターの花苗を植え替えし、再度道路沿いに設置する。

(委員)

2つの自治会が行うとのことですが、しおさい会館あたりから千代むすびくらいまでが範囲となりますか。

(南大正町自治会)

しおさい会館前の旧NTTに向かう道路が基準となっていて、北側が大正町会、南側が南大正町自治会となります。ただし道路に面しているところは南大正町となっています。

(委員)

合併が決まったということで、作業を通して2つの自治会会員が顔見知りになり、いろいろな活動が活発になっていくことを願っております。

(委員)

会員数が40世帯と書いてありますが、これが全世帯数ですか。

(南大正町自治会)

今回の申請は南大正町自治会です。南大正町自治会の構成成分として40世帯です。大正町会は50世帯です。

(委員)

あわせて90世帯のうち60世帯の参加を目標にされているということですね。

(南大正町自治会)

前回募集したときは両自治会あわせて40世帯ほどしか集まりませんでした。目に見えるところで同じものをとることになると枯らしてしまうのではないかとといった心配をされるところもありました。1年経ち、花も今咲いているのでこういうものですよと声掛けをして20世帯を追加したいです。

(委員)

花は植えた後の管理が大変で、土も1年くらいしかもたず、追肥が必要となりますね。継続してもらうためにも予算に組み込んでもらえたらと思います。

(南大正町自治会)

来年は予算をつけないといけませんね。

(委員)

清掃や側溝掃除と合わせて行くと活かされるのではと思います。

(南大正町自治会)

確かに合わせるといいかもしれませんね。

(地域振興課長)

境港市でも自治会の合併はずっと懸案事項となっております。これが先進事例となって他の自治会でも合併が進んでもらえるようになったらと思っています。

◇2 団体目 おはなしポケットの会

- ・申請事業 おはなしポケットの会 20 周年記念講演会
- ・事業内容 平成 25 年 5 月 26 日に境港市民会館大会議室で講演会を開催する。  
講師佐々木宏子 演題「子どもの心の発達と読み聞かせ」(1 時間半)  
参加費 500 円

(委員)

長年この会を運営されており、活動は身近に感じております。今回の講演会は 100 名の参加者を見込んでおられますが、PR してもらい 100 名以上集まるよう努力していただきたいのですが、具体的に PR はどのようなことを考えていますか。

(おはなしポケットの会)

チラシを作成し、市内の小・中学校、高校、読み聞かせボランティアをされている方、鳥取県が読書活動を推進しており、県認定の子ども読書アドバイザーが 50 数名おられますので市外ですがそういう方にも案内します。

当日が植樹祭と重なっておりますので、すでに予定が入っている方もいらっしゃるかもしれません。残念がっていただいたりもしております。

(委員)

ぜひ大盛況をお願いしたいと思います。

(委員)

用紙の大きさですが、見積書では B5 と B4 となっておりますが、あえてそうされたのでしょうか。A4、A3 は高いですか。単価が気になったもので。

(おはなしポケットの会)

A4 も使います。あと、チラシを拡大してポスターにします。これに A3 を使用します。

B4 は 2 つ折りにし、当日ポケットの会のあゆみを作って配ろうと思います。

(委員)

20 年経って会員が 8 名となっておりますが、これ位が活動には丁度いいですか。これ以上増やす計画はありますか。

(おはなしポケットの会)

20 年経ちますと増えたり減ったりがあります。この活動をしていて、子どもたちが大きくなって、手が離れたときポケットに入って一緒にやるというよりも、自分たちが新しい会を作って活動して貰えたらいいなと願っています。

◇3 団体目 境港九条の会

・申請事業 伊藤千尋講演会

・事業内容 平成 25 年 6 月 9 日に夢みなとタワー3 階映像シアターで 2 時間程度の講演会を開催。入場料は無料（広く市民に参加していただくため）。チラシポスターを作成し、市内各所で配布及び掲示する。

(委員)

市からの助成ですし、現在憲法問題がクローズアップされる中で、政治的な推進については特に気を付けられていると思いますが、その点を十分考えて活動していただけたらと思います。

(境港九条の会)

憲法九条を守るという一点で集まっています。思想・信条・宗教にはとらわれないで集まろうとってできた会です。全国様々な人が参加しておられる会です。

(委員)

憲法の話題がでておりますし、今の憲法を理解していただくいい機会だと思います。

(委員)

市民活動センターに出入りしますので九条の会を知っていますが、一般市民の方にはまだ、認知度が低いように思えます。以前開催された、松元ヒロさんの講演を見に行きましたが、おもしろかったです。ぜひ認知度が高くなるような活動をしてもらいたいです。

(地域振興課長)

これまでの講演会ではどれくらいの方が入られましたか。

(境港九条の会)

シンフォニーガーデンでの講演会は 200～300 人です。

(地域振興課長)

会員以外の方はどれくらい来られましたか。

(境港九条の会)

会員と非会員ですと、圧倒的に非会員が多いです。それだけ関心が高いということでしょう。会を作るとき基調講演をしましたが、大吹雪の中でしたが 126 人が集まりました。

◇4 団体目 浜棉コットンプロジェクト

・申請事業 浜棉種まき会

・事業内容 平成 25 年 5 月 20 日に浜棉の種まきイベントを開催。種まき・綿くりなどを体験してもらおう。

(委員)

伝統の伝承をしていただきたいと思います。

今後も継続していくことになれば用地が必要となるでしょうから管理をきちっとされないといけないと思います。この点に気を付けてがんばってもらいたいです。

(委員)

見積もりは1社しかとっていないのですか。

(浜棉コットンプロジェクト)

市の農業公社に相談しましたところ、この会社を教えてくださいました。市もこの会社に頼んでいるとのことなので、市と同じサイズの畝でとお願いしました。

(委員)

綿は連作ができますか。

(浜棉コットンプロジェクト)

連作はできないという説もありますが、みなさん出来ると言われます。

話を聞いていると昔はにんじんと一緒に蒔いたという方もおられました。どっちかがダメになっても、どっちかが採れるし、どっちもできることもあるとおっしゃってました。こういう知識は聞かないと分からないし、聞けることは聞いておきたいと思っています。

(委員)

昔されていた知恵を記録に残し、実践していただきたいと思います。

また、チラシを作って若い人、特に子どもたちに広めてもらいたいです。

(地域振興課長)

畑は会員の方のものですか。

(浜棉コットンプロジェクト)

いえ。農業公社から借りています。

(地域振興課長)

種まき、綿くり、手紡ぎのイベントをされるとのことですが、経費には畑の整備と看板分しか入っていません。これらイベントには経費はかからないのですか。

(浜棉コットンプロジェクト)

経費はかかりますが、持ち出しで行います。先生を呼んで手紡ぎ等を行うのではなく、みんなが先生となってやるという感じです。

(地域振興課長)

参加者30名の予定ですが、どのように募りますか。

(浜棉コットンプロジェクト)

これまでに協力していただいた方や、興味を持っていただいた方に案内をします。

(地域振興課長)

広く市内で募るということではないのですか。

(浜棉コットンプロジェクト)

以前小さな子どもさんが来られた時、隣の畑を踏み荒らしたりと色んなことが起きました。もう少し畑の整備が出来てからでないと、広く市内にということは難しいかなと思います。

(地域振興課長)

糸は弓浜緋の原料として使われるのですか。

(浜棉コットンプロジェクト)

そのように考えています。布を作るにしても手紡ぎで行いたいと思っています。綿から糸になって、布になるという一つの流れが分かるようにしていきたいと考えてます。

(地域振興課長)

できた布などをどこかで展示してPRするなどはされていませんか。

(浜棉コットンプロジェクト)

糸や布の用意はあるのですが、そこまではできていません。

◇5 団体目 子どもたちと綿をつくろう会

・申請事業 子どもたちと綿をつくろう会

・事業内容 渡地区内3か所の畑、小学校、綿打ち工場、弓浜がすり指導所で渡小3年生、PTAなどと種蒔きから収穫まで行い、綿繰り・染色を見学体験する。

(委員)

去年頑張られた成果がでて、すごく頑張ってるなと思います。伯州綿は市も力を入れており、将来につなげるという意味でも、子どもたちを巻き込んだ活動が素晴らしいです。今年もいい成果が出ることを願っております。

(委員)

去年は卒業記念の風呂敷を作られていますが、今年はどうですか。

(子どもたちと綿をつくろう会)

まだ決まっていません。学校の方もどの学年が何をするか昨日決まったところです。

(委員)

和紙はなにかにされますか。

(子どもたちと綿をつくろう会)

4年生が理科室で紙すきをします。中に紅葉を入れたり、色を付けたりします。本当は卒業証書を作りたかったです。

(委員)

ボランティア18名というのはPTAの方ですか。

(子どもたちと綿をつくろう会)

いえ。会のボランティアが18名です。平均年齢も高く若返りを図らないといけないと思っています。

(委員)

会費はこの18名のボランティアの方からのものですか。

(子どもたちと綿をつくろう会)

そうです。

(委員)

会費を払うメリットはあるのですか。

(子どもたちと綿をつくろう会)

昨年作った風呂敷を差し上げました。

◇6 団体目 元気みなと商店街

・申請事業 元気みなと商店街 PR 事業

・事業内容 横断幕を作製し、定例の月2回のまいもん朝市の時と、定例外のまいもん市開催の時に掲げ、はっぴはスタッフが朝市の外、オブジェお披露目、その他イベント参加時にも着用することで「元気みなと商店街」を観光客や地域住民へPRする。

(委員)

だいぶ朝市が浸透して、お客さんの出入りが多くなっているように思えますがいかがですか。

(元気みなと商店街)

今月で19回目となりますが、回を重ねるごとに少しずつではありますが、地域の方に認知されてきたと実感があります。多少ばらつきがありますが、お客さんも増えてきています。

(委員)

オブジェが12体できていますが、どのくらいを目標にされているのですか。

(元気みなと商店街)

88体です。

(委員)

建屋の関係で景観からも気になる場所です。外部の方も見られますので会の方で中心になって考えていただけたらと思います。

(委員)

月に1回のまいもん朝市と書いてあるのですが、土曜日だったり、日曜日だったりすることがあるのですか。

(元気みなと商店街)

土曜日と日曜日の2日間しています。5月3, 4, 5日はゴールデンウィークということもあり、特別に開催しました。

(委員)

お野菜は地元のものですか。

(元気みなと商店街)

そうです。

(委員)

境のいい野菜や産物をこの機会にどんどん宣伝していただきたいと思います。

(委員)

水木しげるロードの案内をする時に、ちょっと足を伸ばしておさかなロードを案内しています。店が朝市の場所だけなので、将来的にぽつぽつと専門店などが散らばってできてくれば客足も増えるのではないかと思います。

◇6 団体目 青少年育成境港市民会議 境地区部会

・申請事業 第1回落書き大会

・事業内容 平成25年6月16日に本町商店街アーケード内、水木しげる記念館前において境港市内の小学校児童・保護者、観光客、地元参加者で道路の所定場所内にチョークで自由に落書きを行い、写真撮影を行う。後日HPにて落書きをアップし、関係各所にリンクをお願いし、地域、学校、家庭等での話題作り、思い出作りとしてもらう。

(委員)

素晴らしい企画を考えられたなというのが第一印象です。

500人の参加者は地元中心ということですが、日曜日ということもあり、一般の観光客も出入りがあることと、駐車場のことを考えないといけないかなと思うのですが。

(青少年育成境港市民会議境地区部会)

私たちのメンバーに境小学校の校長先生がおられますので、一つは小学校を考えています。他にも考えます。

(委員)

使用許可はとられていますか。

(青少年育成境港市民会議境地区部会)

使用許可は市役所において書類を出しております。その審査が通ればすぐに警察へ提出します。また、警備会社にも話を通しております。

(委員)

先ほどもありましたが、自家用車で来られた方で、境小や向かいの鳥取銀行が借りられればいいですし、チラシにも駐車場はここですと案内できれば、とても楽しい時間が過ごせると思います。

(委員)

スタッフは足りませんか。

(青少年育成境港市民会議境地区部会)

日曜日ですし、仕事が休みの方も多く、スタッフ全員フル稼働で行います。



(地域振興課長)

素晴らしい取り組みで感心しております。これが境港の名物イベントとなって続いていくように期待しております。

(委員)

ポスターの原稿を持ってまいりました。これができるべくたくさん皆さんの目に少しでも留まるように頑張りたいと思います。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。みなさんご覧いただいている通り、すべての団体に合格点の18点を超えています。それはそれとしまして1件1件討議をしたいと思えます。その中で改善点があればあげていただけたらと思います。まずは「南大正町自治会」から意見ををお願いします。

(委員)

自治会が合併されるんですね。

(委員)

境の旧市内には小さい自治会もあります。

(委員)

8〜9軒で1つの自治会となっているところもありますし。

(委員)

合併は大きな問題ですね。

(委員)

モデルケースとなってもらえたらいいですね。

(会長)

事業自体は目新しいものではないですけど、合併されて色んな事業に発展していくことが期待されます。

<採択>

(会長)

続いて、おはなしポケットの会に移りたいと思います。

(委員)

広報をして、ぜひ参加者を増やしてほしいです。

(委員)

宿泊費について、別の団体と大きく違うのですが、宿泊費などの上限はなにもないので

すか。

(事務局)

額の規定はありません。会員でなく講師の方が泊まられることなので。

(委員)

おはなしポケットではないのですが、交通費についても申請団体によってばらばらです。

(委員)

我々が東京へ行く時も、補助があるときの旅費は新幹線料金3万円しかでません。

(委員)

航空運賃は出なくて、JR料金が基準となっておりますね。

(会長)

まちまちな申請が出てくるので旅費は統一しておいた方がいいと思います。

(事務局)

他の自治体の様子を調べて、報告させていただきます。

<採択>

(会長)

次に、境港九条の会に進みたいと思います。今までも申請があり、いろいろな意見がありました。

(委員)

事業費内訳の中に街宣車車両燃料費がありますが、事業内容に書かれていません。

(委員)

各公民館に「反原発」のチラシが置いてありますが、補助を出していいものか。

(委員)

調べてみましたが、宗教団体、政治団体ではないと明記はされていません。

(会長)

始めの申請から議論はありましたが、宗教や政治は謳っていないし、講演については一般参加も呼び掛けて行っているの、聞く方の自由もあるし制約することではないと判断していました。

(委員)

通常の会については何も書かれていません。

(会長)

プレゼンテーションの時に言われてましたが、通常は会をしているとのことですね。

(委員)

定例会をされていますね。

(委員)

市のお金を使うので、限られたメンバーに向けての講演となるとどうかと思いましたが、

講演のときは一般参加者の方が多いと言われました。

(会長)

そう言われれば納得するしかない。180名の会員がおられて、200ちょっと人が入り、一般参加者の方が多かったということはほとんど会員がでてきていないということですかね。

(委員)

反原発の考え方に、補助金を出していいものか。

(会長)

一般参加者の方が多いと言われれば規制はかけられないかなと思います。

(地域振興課長)

以前県にも補助金申請があり、どういう判断をしたかというのと、明らかに政治活動でなければ認めざるを得ないというところです。

市の補助金の要項にも「平和の推進」があります。

(委員)

そうなんですよ。それに当てはまるのかなと思っていました。ただ同じく「政治上のある特定の思想を、推進、支持、または反対すること」もあるのでどこをどういう風に判断していけばいいのか、申請内容だけでいけばいいのかなど。

過去にも補助実績もあるので重要視しなければいけないかとも思いました。

(会長)

通常の活動資金については、出せないけれどもこの企画については良いと判断してもよいでしょう。

<採択>

(会長)

次は、コットンプロジェクトです。

(委員)

面積が広いけれども、とれた綿はどうするのかと思いました。

(会長)

マルチをして草が生えないようにされるとのことですが、うまく取れるかどうか分かりません。気になるのは伝統を守ると言われますが、伝統を守るだけでやっていけるかどうかです。今の社会はそういう社会ではないです。活動を拡大させるには、自分たちの資金を使っていけないといけない。補助金はその原資となるべきものです。とれた綿をかすりにするだけでなく、どういう使い方ができるか考えていくことが大切です。私たちも今高校生と新しい使い方を考えていて、ぼちぼち出来てきました。色んなことができることになれば子どもたちも興味をもってくれて、綿を拡大する道が開けていくんじゃないかと思えます。

子どもたちを参加させるならば、楽しいイベントにしないと集まらないでしょう。人が集まってくるかという不安もあります。集まらないうとこれだけの面積ですから、負担がかかってくるようになりそうです。これまでも収穫できなくなって途中で止まってしまったという経緯もありますが、今回補助金を使って改めてやってみようということでしょう。

(委員)

面積が広いから、畑が荒れてしまうんではないかという思いが離れませんでした。

(委員)

農業経験はあるんですかね。

(会長)

綿はずっとやっていました。私たちの団体が9年目ですが、始めたときに綿をやりたいと相談され、種を蒔いたのがきっかけです。農業公社はその後から。2, 3年目にできた種が県に行き、広がっていった経緯があります。毎年やってましたが、作業が追い付かなくて収穫までできないということが続きました。けれどもずっと続けてきてますから、今回補助金を使ってやろうということだと思います。

(委員)

伝統を知ることはいいことだと思います。今後それをどう活かすかが問題ですね。

<採択>

(会長)

続きまして子どもたちと綿をつくろう会です。

私もメンバーなので昨夜突き詰めた議論をしてきました。すごいプロジェクトですが、PTA との活動がやっていけるか。やっついていかないとあまり意味のない活動になってしまう。ボランティアが綿をつくって、子どもたちがたまにやっついて意味がなく、お父さんお母さんが加わってもらうことで広がっていくと思うんです。しかし、みなさんが忙しすぎるし、子どもたちも忙しいんですね。PTA 会長もメンバーに入ってもらいましたし、話をさせていただきながら、みんなでやっついていく体制を作っていかなければいけません。これができるれば、今年の活動から一段階登れるんです。

(委員)

今年が正念場ですね。

(会長)

去年は報道関係が入りすぎました。実力がないのにあれだけ報道されたらあとが困ります。実力がついてきたら黙ってても取材に来てもらえるので、それを待つのがベストです。さっき言われたように今年が正念場です。気を引き締めてやらないと反対に笑いものになってしまう。

(委員)

去年綿を取った時の子どもの顔はすごく良かったです。綿くりして、糸ができたときは

にこにこしてみんな笑顔でした。

(委員)

3年生はやり易いのではないですかね。

(委員)

6年生にできて3年生にできないということはないですしね。

(会長)

何とかやってみたいと思っています。今年なんとかできれば新しい道が開けるのではないかと思います。

<採択>

(会長)

次は元気みなと商店街です。

(委員)

事業計画書の中で名称は「元気みなと商店街まいもん市」ですが、今回実際に行われる事業は横断幕の作り替えとはっぴの作製ですよね。申請書に書かれている事業内容はまいもん市なので内容を書き直してもらわないといけません。

(地域振興課長)

申請された事業の内容と経費がマッチしていないということですね。修正してもらいます。

(委員)

印刷屋がはっぴも作るんですかね。

(委員)

今は印刷屋もしていますね。プリント印刷があるし、安いんです。

(委員)

今水木しげるロードの中でも商品を買っているところもありますよね。そういうところに負けないようにアーケードの中で開催すればいいのではないかと思います。

(委員)

アーケードの中は賑わいがあるので、その外を賑わわせたいというのが目的ですから。

(会長)

資金の面からPRが出来てないんですよ。手書きのチラシがありますが、中身がぎっしりでお客さんも読みませんよ。折り込み広告も限られた地区だけです。この前は新聞に記事が出ただけで島根県からわざわざ車2台で来られてました。

(委員)

関心がある人は多いんですね。

(委員)

地元の人が知らないですよ。

(事務局)

PR 事業のようなものに修正してもらおうようにします。

<採択>

(会長)

最後は青少年育成境港市民会議の落書き大会です。

(委員)

歩行者天国にするんですか。

(委員)

アーケードを歩行者天国にして、警備を置くみたいですね。

(委員)

ゲタ飛ばし大会、ゲタ積み大会みたいに県外の人も参加すると思います。

(委員)

企画としてはとても面白いので、大きな大会になる可能性があります。

(委員)

このあたりはスタンプラリーが集まっている場所で、さらに狭いですよね。

(委員)

一回やってみたら課題点も見えて、新しい企画も出てくるでしょう。

(委員)

予算書にこの事業の補助金以外に助成金がありますが、どうなんですか。また、収入が前年度繰越金と補助金しかない中で、この事業を行うと予備費の数千円しか残りませんがいいんですかね。

(委員)

繰越金を使ってしまわなければいけないという思いが念頭にあると思います。育成会の収入は助成金だけです。

(会長)

市からの補助金がダブっていないかということですよ。

(事務局)

団体に対する助成であって、今回の申請は事業実施に係る補助金ということで認めます。

(委員)

今年度は大丈夫だとしても、来年度は全部助成金になってしまうので事業をしようとした場合はできませんよね。

(事務局)

そうですね。自己資金がないといけません。

(委員)

繰越金は市からの助成金だった可能性もありますよね。

(委員)

いえ。公民館祭りでお店を出したり、バザーの収入があります。

(事務局)

決算書ではなかったのでお手元の資料には含まれておりませんが、現金出納帳を提出していただいております。収入の内訳としましては公民館際の売り上げとバザーの売り上げです。

(委員)

そうなると予算書にバザー収入が入っていないのはおかしいですよ。

(事務局)

会全体の収支について、毎年バザー収入があるかどうか確認します。

<採択>

(委員)

九条の会に戻っていいですか。見積書の1つに「原発」の文字がありますが、「原発」が入っている時点で政治的であると判断できると思うのですが。この見積書にだけ入っていて、事業内容には記述がありません。

(委員)

原発について賛成、反対ということは書いていませんよね。

(委員)

原発が出てくる時点で、どちらかですよ。中立というのはありえない。

(地域振興課長)

原発について語る、9条について語るとうことについては問題ないと思います。

(会長)

講師は偏った話をするかもしれませんが、解釈は聞いた人それぞれですればいいわけです。

(地域振興課長)

賛成、反対のどちらかに偏った内容の話ではなく、両論を語ってもらうよう伝えるのがどうでしょうか。

(委員)

それは条件となりますよね。そうなると講演内容を確認しないといけなくなりますよね。

(会長)

花いっぱい運動でもそうですが、本当は1件1件確認していかないといけないんですが、我々もやっていけません。なので、出された資料で判断するしかないんです。講演であり言論の自由もあるため、聞く方の判断になると思います。講師も内容の制約があると話ができなくなります。要旨を提出して、承認されたとしても気持ちが抜けてしまいますよね。

(事務局)

団体をどう見るかになると思います。団体として政治的な団体としてとらえるならば何をされても対象外なのですが、そうでないならばその団体が行う平和活動として認められると思います。

(委員)

原発説明会の時に反対意見を言われていたということは、そういう団体ではないかと判断もできます。

(地域振興課長)

メンバーがそういう発言をしたから、その団体がそうだというもの難しいです。

(委員)

申請の中でも政治的なものを感じ取れるので、補助金を出すのはどうかと思っていました。

(地域振興課)

前から議論がありまして、憲法を考える機会としてよいのではないかとということでした。

(会長)

講演をどう考えるかによるとと思います。不特定多数の方に参加を呼びかけ、広報しています。つまりいろんな人が来るわけです。反対の人、賛成の人もいっぱい来て、勉強の機会ともなります。団体に補助を出すわけではなく、講演会の事業に補助を出し、その講演は不特定多数の方が参加します。

(委員)

前回の講演会には補助を出しています。

(委員)

あの講演会は良かったです。原発の文字を入れるだけで人が集まるかもしれないです。今まで九条の会では原発について出ていなかったのに。爆笑ライブで九条が身近に感じられました。

(委員)

これだけの議論が出たということを伝えてください。

(会長)

結論はなかなか出ないと思いますので、意見がたくさん出たということを伝えてほしいと思います。かなり詰まった議論ができたと思います。

今後も応募がたくさん出てくるとと思いますので、ご意見をいただきながら、積極的に補助を出していくという基本的な方針を持ちながら進めていけたらと思います。

<採択>

(会長)

緑化事業6件あり、すべて継続です。活動の拡大も難しいと思います。しかし、助成金



でこのような活動をしてもらえるのならばよいのではないかと思います、どうでしょうか。

(委員)

町や地域が美しくなっていていいです。

(委員)

境港市の花が菊なので、どこか入れてほしいなと思います。

(委員)

プランターで菊は難しいですよ。鉢でしないと。

(委員)

決算書に補助金の記述がないところがあります。

(事務局)

市からの支払いは実績報告書が提出され、検査をし、補助額が確定してからとなります。実績報告書の提出が年度末に近くなると支払いが翌年度の4月となり PTA としても入ってきていないお金は決算できないとのことでした。

(委員)

何校か回ってみました、玄関や中庭できれいに育てておられました。京和会も印字の入ったプランターでよかったです。

(委員)

今回でていない3つの小学校は人権の花運動でされるようで、市内全小学校で行われることになります。

(会長)

やはり補助金を出して予算、決算に何も無いのは寂しいですので、再度指導をお願いします。ではすべて採択とし、閉会と致します。

<採択>

<閉会>